

新しい学年・学部での学習のスタート

校長 市川 裕二

2019年度（平成31年度）のスタートです。先ごろ、新元号が発表されました。新元号は、「令和」です。令和の使用は、5月1日からとなります。令和の意味は、日本語研究者の金田一秀穂先生による「冬から春にかけての気持ちがいい、新しい1年が始まっていく。新鮮さの表れ。」という解説を読みました。まさに、新しい時代が始まることを感じさせる元号だと思いました。教育の世界においても新しい時代が始まります。今年の2月4日に、新しい特別支援学校高等部学習指導要領が告示されました。これにより、特別支援学校の新学習指導要領は小学部、中学部、高等部とすべて示されたこととなります。本校において、この新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動を進めていきます。現在、小学校や中学校、高等学校の新学習指導要領の趣旨は、「これからの時代は、テクノロジーの進歩やグローバル社会の進展により簡単に予測できない時代となる。そうした多岐にわたるような世の中で子供たちが大人になり豊かに活躍するために、自分で考えたり、判断したりできる主体的に生きる力を学校教育で育成していく必要がある」ということだと思っております。こうした願いは特別支援学校においても同様だと思えます。「自分で考えて、判断して活動できるようになること」、「自分の気持ちや意見を伝えられるようになること」、「自分でできることは自分で行うようになること」は、これからの時代に、子供たち一人一人が充実した人生を送れる力になると思っております。あきる野学園では、教職員一同が丸となって、一人一人子供たちの持てる力を最大限伸ばす教育を推進していきます。今年度も、本校の教育活動へのご理解、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

明日をひらこう あきる野学園

副校長 渡辺 裕介

4月より、田無特別支援学校の校長として異動された望月副校長の後任として着任いたしました渡辺裕介（わたなべゆうすけ）と申します。今年度、知的障害教育部門（B部門）の小・中学部を担当いたします。あきる野学園は、自然豊かな地域にあり、複数の教育部門設置校でもあることから、一度勤めてみたかった学校の一つでした。着任できてうれしく思っています。

音楽が趣味ということもあり、始業式には校歌を覚えて参加したいと思い、楽譜を見ながら自宅で練習してみました。あきる野学園の校歌はとても素敵ですね。児童・生徒の皆さんと一緒に歌うのを楽しみにしています。

8年間教育行政に勤めており、久しぶりの学校での勤務です。学校をしばらく離れて感じたことは、教員という職業は、児童・生徒の成長をいつも感じる事ができ、やりがいをもって働ける素晴らしい職業だということです。市川校長の学校経営計画を着実に進めることで、あきる野学園の教育内容の更なる充実を図り、「働き方改革」を進めることで、教員を目指す若者がもっと増えるような、より魅力的な学校にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。